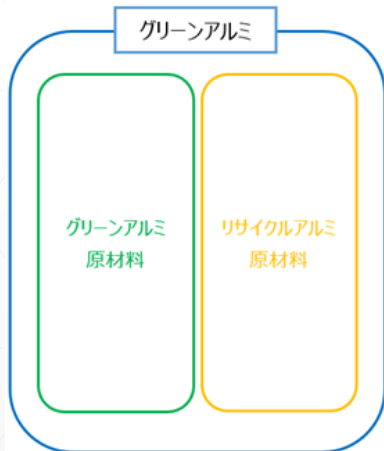


グリーンとリサイクルに関する用語

目的：アルミニウムに関するグリーンに関する用語については、地金、板や押出などの展伸材のいずれであるのか、非化石エネルギー由来の新地金、スクラップ由来の再生地金のいずれであるのか、不明確な場面があることから、用語の共通化を行うこととする。

また、グリーンアルミを対象とした行政支援を求めていくためには、何がグリーンアルミであるか（どれが支援対象であるか）を求められることが想定され、その準備としても重要と考えられる。

説明：「グリーン」と「リサイクル」については、それぞれ使い分けを下表の通りとし、原材料の個別呼称に使用する。
また、それら原材料の総称、あるいは、それらを使用した製品を総じて「グリーンアルミ」と名付ける。



総称	呼称	対象	目的	概要
	グリーンアルミ	グリーンアルミ原材料もしくはリサイクルアルミ原材料、あるいは、それら両方を使用して製造された製品(板・押出などの素材)	行政支援の対象明確化	対象に記載の原材料を使用してGHG排出量を削減した製品（マスバランス・割り当てを含む）
	グリーンアルミ原材料	アルミニウム原料（地金、インゴット、スラブ、ビレットなど）	低GHG原料を明確化	非化石エネルギーを発電源とした製錬により生産されたアルミニウム原料
	リサイクルアルミ原材料	アルミスクラップ（ポストコンシューマ、プレコンシューマのいずれも可）もしくは、アルミスクラップを再生したアルミニウム原料（地金、インゴット、スラブ、ビレットなど）	リサイクル原料を明確化	アルミスクラップ（ポストコンシューマ、プレコンシューマのいずれも可）を使用した原料

2026/8/5(水) 更新

アルミ展伸材の様々なリサイクル率計算方法のご紹介

Type	説明	計算式
I	原料投入量当たりの回収原料率	リサイクル率 = $(C+D) \div (A+B+C+D)$
II	原料投入量当たりの循環原料率	リサイクル率 = $(C+D+E+F) \div (A+B+C+D+E+F)$
III	出荷量当たりの非一次原料率	リサイクル率 = $1 - \{(A+B) \div G\}$
IV	出荷量当たりの回収原料率	リサイクル率 = $(C+D) \div G$

Type I, II は生産管理に適しており、Type III, IV は製品説明に適していると考えられる。

